

令和3年度（上半期）

丹羽広域事務組合水道事業報告書

自 令和3年 4月 1日

至 令和3年 9月30日

目 次

1	経理の状況		
	(1) 業務の状況	-----	1
	(2) 損益計算書	-----	2
	(3) 貸借対照表	-----	3
2	事業の概要		
	(1) 営業について	-----	5
	(2) 改良工事について	-----	5
	(3) 主な請負契約工事の内容	-----	6
3	業務		
	(1) 事業収入に関する事項	-----	8
	(2) 事業費用に関する事項	-----	8
	(3) 料金の状況	-----	9
	(4) 有収水量の状況	-----	9
	(5) 配水量の状況	-----	9
	(6) 給水負担金の状況	-----	9
	(7) 検針・徴収の状況	-----	9
4	会計		
	(1) 重要契約の要旨	-----	10
5	令和2年度決算状況		
	(1) 総括事項	-----	11
	(総括)	-----	11
	(経理の状況)	-----	11
	(改良工事)	-----	11
	(業務)	-----	11
	(2) 予算に対する決算状況	-----	12
	(3) 損益計算書	-----	12
	(4) 貸借対照表	-----	13

令和3年度水道事業会計（上半期）

1 経理の状況

(1) 業務の状況（税込）

ア 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 事業収益	1,047,137,000	497,984,568	47.6	(うち仮受消費税) 40,662,654
第1項 営業収益	946,128,000	447,907,774	47.3	(") 40,644,065
第2項 営業外収益	101,008,000	50,076,703	49.6	(") 18,589
第3項 特別利益	1,000	91	9.1	(") 0

※営業外収益中、長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 事業費用	975,074,000	401,878,688	41.2	(うち仮払消費税) 17,283,946
第1項 営業費用	960,797,000	399,379,832	41.6	(") 17,275,869
第2項 営業外費用	8,612,000	2,409,976	28.0	(") 0
第3項 特別損失	165,000	88,880	53.9	(") 8,077
第4項 予備費	5,500,000	0	-	

※営業費用中、減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

イ 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的収入	357,219,000	24,500,850	6.9	(うち仮受消費税) 2,227,350
第1項 企業債	190,000,000	0	-	
第2項 工事負担金	167,219,000	24,500,850	14.7	(") 2,227,350

(支出)

(単位：円)

科 目	予 算 額	支 出 額	比率(%)	備 考
第1款 資本的支出	643,168,000	41,155,721	6.4	(うち仮払消費税) 1,099,832
第1項 建設改良費	634,276,000	36,721,584	5.8	(") 1,099,832
第2項 企業債償還金	8,892,000	4,434,137	49.9	

(2) 損益計算書(税抜)

上半期分(令和3年4月1日~令和3年9月30日)

(単位:円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	396,311,055		
(2) その他の営業収益	10,952,654	407,263,709	
2 営業費用			
(1) 配水及び給水費	237,760,365		
(2) 総係費	9,923,098		
(3) 減価償却費	134,420,500	382,103,963	
営業利益			25,159,746
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	10,225		
(2) 長期前受金戻入	45,189,500		
(3) 雑収益	4,858,389	50,058,114	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	2,409,976	2,409,976	47,648,138
経常利益			72,807,884
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	91	91	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	80,803	80,803	△ 80,712
当年度純利益			72,727,172
前年度繰越利益剰余金			87,463,447
その他未処分利益剰余金変動額			200,000,000
当年度未処分利益剰余金			360,190,619

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(3) 貸借対照表 (令和3年9月30日現在)

資産の部

(単位:円)

1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
ア 土地		179,195,992		
イ 建物	9,925,450			
減価償却累計額	△ 5,639,954	4,285,496		
ウ 構築物	11,947,145,771			
減価償却累計額	△ 5,769,626,207	6,177,519,564		
エ 機械及び装置	259,765,085			
減価償却累計額	△ 206,013,919	53,751,166		
オ 車両運搬具	11,631,435			
減価償却累計額	△ 10,928,880	702,555		
カ 工具器具及び備品	69,004,497			
減価償却累計額	△ 11,257,356	57,747,141		
有形固定資産合計			6,473,201,914	
(2) 無形固定資産				
ア 電話加入権		1,265,400		
無形固定資産合計			1,265,400	
固定資産合計				6,474,467,314
2 流動資産				
(1) 現金預金			769,705,575	
(2) 未収金		9,365,013		
貸倒引当金		△ 619,898	8,745,115	
(3) 貯蔵品			1,188,740	
(4) 概算払			19,116	
(5) 仮払消費税			18,988,448	
流動資産合計				798,646,994
資産合計				7,273,114,308

負債の部

(単位：円)

3 固定負債				
(1) 企業債			726,566,297	
(2) 引当金				
ア 退職給付引当金		19,764,290		
引当金合計			19,764,290	
固定負債合計				746,330,587
4 流動負債				
(1) 企業債			4,457,861	
(2) 未払金			2,580,160	
(3) 前受金			6,125,732	
(4) 預り金			39,232,753	
(5) 仮受消費税			42,890,004	
流動負債合計				95,286,510
5 繰延収益				
ア 国庫補助金長期前受金		19,063,354		
収益化累計額		△ 2,181,694	16,881,660	
イ 県費補助金長期前受金		68,476,017		
収益化累計額		△ 54,851,886	13,624,131	
ウ 工事負担金長期前受金		4,005,106,279		
収益化累計額		△ 1,797,142,682	2,207,963,597	
エ 受贈財産評価額長期前受金		76,781,826		
収益化累計額		△ 12,820,529	63,961,297	
繰延収益合計				2,302,430,685
負債合計				3,144,047,782

資本の部

(単位：円)

6 資本金				
(1) 自己資本金				
ア 固有資本金		17,800,646		
イ 出資金		747,568,613		
ウ 組入資本金		2,612,239,712		
自己資本金合計			3,377,608,971	
資本金合計				3,377,608,971
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
ア 工事負担金		95,068,288		
イ 受贈財産評価額		1,198,648		
資本剰余金合計			96,266,936	
(2) 利益剰余金				
ア 利益積立金		30,000,000		
イ 建設改良積立金		265,000,000		
ウ 当年度未処分利益剰余金		360,190,619		
利益剰余金合計			655,190,619	
剰余金合計				751,457,555
資本合計				4,129,066,526
負債資本合計				7,273,114,308

2 事業の概要

(1) 営業について

令和3年度上半期（令和3年4月～令和3年9月）における有収水量は307万5千 m^3 であり、前年度と比較し、1万1千 m^3 の減で99.7%となりました。

収益的収支の収入は、事業収益が予算額10億4,713万7千円に対して、4億9,798万5千円で47.6%の執行率となり、そのうち水道料金収入は4億3,591万6千円で、口座振替加入率が86.3%となっております。

支出では、事業費用として予算額9億7,507万4千円に対し、執行額は4億187万9千円で41.2%の執行率となっております。

資本的収支は、収入2,450万1千円に対し、支出は4,115万6千円となっております。

給水業務については、新規給水申込が163件で、前年同期の件数と比較すると12件の増となりました。

下半期についても一層の経費削減に心掛け、健全経営に努めてまいります。

区分	単位	令和2年度上半期	令和3年度上半期	増減（△減）	
給水戸数	戸	24,027	24,281	253	
給水人口	人	59,073	59,166	90	
配水量	総配水量	m^3	3,490,202	3,481,321	△ 8,881
	一日最大配水量	m^3	20,442	20,640	198
	一日平均配水量	m^3	18,968	18,920	△ 48
有収水量	m^3	3,085,396	3,074,883	△ 10,513	

(2) 改良工事について

今年度につきましては、第4次水道整備実施計画に基づく事業として、水道施設更新事業では庁舎改修及び河北配水場の計装機器更新等に3,578万3千円、基幹管路耐震化事業では基幹管路の更新工事設計業務に2,970万円、重要給水施設管路耐震化事業では防災拠点、避難所等の重要施設への管路耐震化に1,545万5千円、経年化管路更新事業では給水区域内各地の配水管更新に3億5,851万2千円、下水道工事等の支障移設等では7,616万4千円、合わせて5億1,561万4千円を予算計上しています。

上半期の状況としましては、4億1,690万円を発注し、執行率は80.86%となっております。

(3) 主な請負契約工事の内容

ア 建設改良工事等（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

工 事 名	工 事 内 容
水道部庁舎内改修工事	1階トイレ改修工事～1式 2階トイレ改修工事～1式 2階廊下等改修工事～1式
河北配水場エンジン付ポンプ更新工事設計業務	ポンプ場更新工事設計業務（建築・機械・電気）～1式
基幹管路更新工事設計業務（第2区・第3区）	配水管詳細設計・測量業務・地質調査業務
上小口一丁目地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=173.371m
柏森字平塚地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=86.294m
斎藤字緑地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=502.416m
余野五丁目地内配水管更新工事	HPPEPφ100他 L=42.959m
南山名字山神浦地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=96.743m
高雄字福塚地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=55.095m
南山名地内舗装復旧工事	舗装復旧他～1式
豊田三丁目地内配水管更新工事	HPPEPφ75他 L=48.748m
高雄字下山地内配水管支障移設工事	HPPEPφ50他 L=151.812m
高雄字北東川地内配水管支障移設工事	HPPEPφ75他 L=347.279m
南山名地内舗装復旧工事その2	舗装復旧他～1式
高雄字北屋敷地内配水管支障移設工事	HPPEPφ50他 L=122.885m
高雄字中海道地内配水管支障移設工事	HPPEPφ50他 L=225.089m
高雄字北東川地内配水管支障移設その2	HPPEPφ50他 L=111.560m
高雄字北郷地内配水管布設工事	PEPφ25他 L=70.635m
河北配水場計装機器更新工事	計装機器更新工事～1式
新宮二丁目他地内配水管更新工事	DIP.GXφ200他 L=512.420m
外坪地内配水管更新工事	HPPEPφ100他 L=529.639m
外坪地内配水管更新工事その2	HPPEPφ100他 L=664.845m
斎藤字緑地内配水管更新工事その2	HPPEPφ75他 L=431.073m
水道部庁舎塗装工事	共通仮設工事～1式 外壁塗装・シーリング下地工事～1式 防水工事～1式

イ 配水管新設工事（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

工 事 名	工 事 内 容
柏森字御字神地内配水管新設工事No.18	HPPEPφ50 L=22.720m
余野二丁目地内配水管新設工事No.110	HPPEPφ50 L=30.250m

工事費(円)	着手年月日	完了年月日	備考
9,713,000	3. 4. 26	3. 9. 30	
6,490,000	3. 4. 27	3. 11. 30	
25,740,000	3. 4. 27	3. 11. 30	
9,460,000	3. 5. 25	3. 9. 10	
6,259,000	3. 5. 26	3. 8. 20	
29,106,000	3. 6. 2	3. 9. 17	
3,817,000	3. 6. 14	3. 9. 10	
6,886,000	3. 6. 24	3. 9. 10	
4,433,000	3. 7. 1	3. 9. 24	
9,372,000	3. 7. 6	3. 9. 17	
3,157,000	3. 7. 16	3. 9. 27	
6,215,000	3. 7. 29	3. 11. 4	
20,460,000	3. 8. 4	4. 2. 25	
12,705,000	3. 8. 10	3. 10. 22	
5,764,000	3. 8. 25	3. 12. 13	
15,510,000	3. 8. 25	3. 12. 20	
6,116,000	3. 8. 25	4. 3. 23	
4,400,000	3. 9. 3	4. 1. 31	
3,300,000	3. 9. 13	4. 2. 25	
82,280,000	3. 9. 22	4. 2. 28	
38,940,000	3. 9. 22	4. 2. 28	
64,130,000	3. 9. 22	4. 2. 28	
27,500,000	3. 9. 22	4. 2. 28	
13,717,000	3. 9. 22	4. 1. 31	

工事費(円)	着手年月日	完了年月日	備考
1,320,000	3. 7. 16	3. 10. 1	
1,518,000	3. 9. 3	3. 11. 19	

3 業務

(1) 事業収入に関する事項

(単位：円、税抜)

事 項	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業収益	373,882,418	407,263,709	33,381,291	108.93	447,907,774
給 水 収 益	361,015,828	396,311,055	35,295,227	109.78	435,916,255
受 託 工 事 収 益	181,696	0	△ 181,696	皆減	0
そ の 他 の 営 業 収 益	12,684,894	10,952,654	△ 1,732,240	86.34	11,991,519
営業外収益	75,650,860	50,058,114	△ 25,592,746	66.17	50,076,703
受取利息及び配当金	15,987	10,225	△ 5,762	63.96	10,225
長期前受金戻入	46,231,500	45,189,500	△ 1,042,000	97.75	45,189,500
雑 収 益	5,064,923	4,858,389	△ 206,534	95.92	4,876,978
他 会 計 補 助 金	24,338,450	0	△ 24,338,450	皆減	0
特別利益	0	91	91	皆増	91
過年度損益修正益	0	91	91	皆増	91
計	449,533,278	457,321,914	7,788,636	101.73	497,984,568

※長期前受金戻入については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(供給単価)

令和2年度上半期	給水収益	361,015,828 円 (消費税相当額抜き)	=	117.01 円
	有収水量	3,085,396 m ³		
令和3年度上半期	給水収益	396,311,055 円 (消費税相当額抜き)	=	128.89 円
	有収水量	3,074,883 m ³		

(2) 事業費用に関する事項

(単位：円、税抜)

事 項	令和2年度 上半期	令和3年度 上半期	比 較		備 考 (消費税込金額)
			増減(△減)	比率(%)	
営業費用	364,506,267	382,103,963	17,597,696	104.83	399,379,832
配 水 及 び 給 水 費	234,082,948	237,760,365	3,677,417	101.57	255,019,473
受 託 工 事 費	169,810	0	△ 169,810	皆減	0
総 係 費	9,554,009	9,923,098	369,089	103.86	9,939,859
減 価 償 却 費	120,699,500	134,420,500	13,721,000	111.37	134,420,500
営業外費用	2,289,345	2,409,976	120,631	105.27	2,409,976
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,289,345	2,409,976	120,631	105.27	2,409,976
特別損失	108,732	80,803	△ 27,929	74.31	88,880
過年度損益修正損	108,732	80,803	△ 27,929	74.31	88,880
計	366,904,344	384,594,742	17,690,398	104.82	401,878,688

※減価償却費については、年間予算額の2分の1を計上しました。

(給水原価)

令和2年度 上半期	総費用	受託工事費	特別損失	長期前受金戻入		
	366,904,344円 - (169,810円 +	108,732円 +	46,231,500円)	=	103.84 円
		有収水量	3,085,396 m ³			
令和3年度 上半期	総費用	受託工事費	特別損失	長期前受金戻入		
	384,594,742円 - (0円 +	80,803円 +	45,189,500円)	=	110.35 円
		有収水量	3,074,883 m ³			

(3) 料金の状況

(単位：千円、税込)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和2年度上半期		71,095	71,365	71,084	62,250	59,773	61,525	397,092
令和3年度上半期		71,596	70,492	70,826	75,122	72,249	75,631	435,916
比較	増減(△減)	501	△ 873	△ 258	12,872	12,476	14,106	38,824
	比率(%)	100.7	98.8	99.6	120.7	120.9	122.9	109.8

(4) 有収水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和2年度上半期		457,101	544,775	463,400	582,099	463,464	574,557	3,085,396
令和3年度上半期		461,636	542,233	461,874	570,475	467,975	570,690	3,074,883
比較	増減(△減)	4,535	△ 2,542	△ 1,526	△ 11,624	4,511	△ 3,867	△ 10,513
	比率(%)	101.0	99.5	99.7	98.0	101.0	99.3	99.7

(5) 配水量の状況

(単位：m³)

年・率		月						合計
		4	5	6	7	8	9	
令和2年度上半期		583,527	561,314	584,978	556,781	599,864	603,738	3,490,202
令和3年度上半期		584,071	560,932	592,033	570,584	588,893	584,808	3,481,321
比較	増減(△減)	544	△ 382	7,055	13,803	△ 10,971	△ 18,930	△ 8,881
	比率(%)	100.1	99.9	101.2	102.5	98.2	96.9	99.7

(6) 給水負担金の状況

項目	令和2年度上半期	令和3年度上半期	比較	
			増減(△減)	比率(%)
加入件数(件)	170	184	14	108.2
給水負担金(円)	21,136,500	22,341,000	1,204,500	105.7

※内訳としては、新規申込件数が163件で給水負担金は20,344,500円、口径変更件数は21件で給水負担金は1,996,500円となりました。

(7) 検針・徴収の状況

ア 検針

区分	延件数			2か月平均	
	令和2年度上半期	令和3年度上半期	増減(△減)	令和2年度上半期	令和3年度上半期
総検針件数	69,661	69,860	199	23,220	23,287

イ 徴収

区分	延件数			2か月平均		
	令和2年度上半期	令和3年度上半期	増減(△減)	令和2年度上半期	令和3年度上半期	
総徴收件数	68,771	71,344	2,573	22,924	23,781	
内訳	銀行納付	1,908	1,796	△ 112	636	599
	コンビニ納付	9,212	9,271	59	3,071	3,090
	口座振替	57,526	60,167	2,641	19,175	20,055
	窓口納付	125	110	△ 15	42	37

4 会計

(1) 重要契約の要旨

ア 建設改良工事等（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

契約年月日	契約金額(円)	工 事 名	契約の相手方
3. 4. 26	9,713,000	水道部庁舎内改修工事	大藪建設(株)
3. 4. 27	6,490,000	河北配水場エンジン付ポンプ更新工事設計業務	中日本建設コンサルタント(株)
3. 4. 27	25,740,000	基幹管路更新工事設計業務（第2区・第3区）	中日本建設コンサルタント(株)
3. 5. 25	9,460,000	上小口一丁目地内配水管更新工事	吉永建設工業(株)
3. 5. 26	6,259,000	柏森字平塚地内配水管更新工事	山本設備
3. 6. 2	29,106,000	斎藤字緑地内配水管更新工事	熊沢建設(株)
3. 6. 14	3,817,000	余野五丁目地内配水管更新工事	(有)吉田設備
3. 6. 24	6,886,000	南山名字山神浦地内配水管更新工事	(有)大竹水道工事店
3. 7. 1	4,433,000	高雄字福塚地内配水管更新工事	(有)新栄設備
3. 7. 6	9,372,000	南山名地内舗装復旧工事	永光建設(株)
3. 7. 16	3,157,000	豊田三丁目地内配水管更新工事	(有)マルイチ吉田水道
3. 7. 29	6,215,000	高雄字下山地内配水管支障移設工事	永光建設(株)
3. 8. 4	20,460,000	高雄字北東川地内配水管支障移設工事	吉永建設工業(株)
3. 8. 10	12,705,000	南山名地内舗装復旧工事その2	吉永建設工業(株)
3. 8. 25	5,764,000	高雄字北屋敷地内配水管支障移設工事	吉永建設工業(株)
3. 8. 25	15,510,000	高雄字中海道地内配水管支障移設工事	永光建設(株)
3. 8. 25	6,116,000	高雄字北東川地内配水管支障移設その2	吉永建設工業(株)
3. 9. 3	4,400,000	高雄字北郷地内配水管布設工事	(株)丸広水道店
3. 9. 13	3,300,000	河北配水場計装機器更新工事	藤田電機工業(株)
3. 9. 22	82,280,000	新宮二丁目他地内配水管更新工事	吉永建設工業(株)
3. 9. 22	38,940,000	外坪地内配水管更新工事	永光建設(株)
3. 9. 22	64,130,000	外坪地内配水管更新工事その2	丸周建設(株)
3. 9. 22	27,500,000	斎藤字緑地内配水管更新工事その2	(有)吉田設備
3. 9. 22	13,717,000	水道部庁舎塗装工事	(株)酒井建築

イ 配水管新設工事（丹羽広域事務組合少額工事事務取扱基準適用工事を除く）

契約年月日	契約金額(円)	工 事 名	契約の相手方
3. 7. 16	1,320,000	柏森字御字神地内配水管新設工事No.18	永光建設(株)
3. 9. 3	1,518,000	余野二丁目地内配水管新設工事No.110	(有)マルイチ吉田水道

5 令和2年度決算状況

(1) 総括事項

(総括)

日本の水道は、今やほとんどの人が利用できるまで普及し、新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックを引き起こす中、公衆衛生に寄与するとともに、健康で文化的な生活や様々な社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤として重要な役割を果たしています。この安心、安全な水道水を常に安定して住民の皆様にお届けできるよう、水道施設の耐震化と更新を計画的に実施し、強靱で持続可能な水道づくりを進めています。

令和2年度は、第3次水道整備実施計画の最終年度となり、施設の統廃合による更新費用と維持管理費用の削減を目的とした扶桑北部配水場が完成し、令和3年3月に給水を開始しました。このことにより、水道施設の耐震化、より効率的・効果的な運用、そして水質監視の強化を図りました。更に、環境対策や省エネルギー化の取組として、官民連携による小水力発電システムも導入しました。

第3次水道整備実施計画では、一部の工事を延伸したものの、ほぼ計画通り進めてまいりましたが、更新は水道施設の経年化に追い付いておらず、更に老朽化が進む一方、節水型社会の恒常化や将来の人口減少等に伴い水需要と給水収益が減少する見込みであり、水道事業経営は非常に厳しい状況にあります。

これらのことから、適正な水道施設の管理更新と経営について、水道事業経営審議会に答申をいただき、水道施設の適時適切な更新、重要給水施設管路耐震化率100%（目標年度令和22年度）などを目標とした工事及び財政の中長期計画となる第4次水道整備実施計画を策定するとともに、経営基盤の強化に向けて業務を進めてまいりました。

今後は、第4次水道整備実施計画等に基づき更新工事を進めながら水道施設を健全な状態に保ち続け、事業の効率化や経費削減の取り組みを継続的に行い、適正な水道料金設定をするなどして財政基盤の強化を図るとともに、将来にわたって安心して安全な水道水を安定して供給し続けることができるよう、より一層努力してまいります。

(経理の状況)

令和2年度の収益的収支（消費税相当額抜）において、営業収益7億7,619万9千円に対し営業費用8億5,421万3千円で、営業損失は7,801万4千円となりました。営業外収益1億7,793万5千円に対し、営業外費用は1,517万円で、経常利益は8,475万1千円となりました。

また、特別利益は25万4千円、特別損失は10万9千円でありましたので、当年度の純利益は、8,489万6千円となりました。

次に、資本的収支（消費税相当額込）におきましては、1億8,636万1千円の収入に対し、支出は7億3,837万5千円で、5億5,201万4千円の不足となりました。この不足額は、建設改良積立金2億円、過年度分損益勘定留保資金2億9,455万3千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,746万1千円で補填しました。

(改良工事)

第3次水道整備実施計画に基づく工事では、扶桑北部配水場建設工事（令和元・2年度継続事業）、同配水場の場内整備工事、遠方監視設備工事及び配水管布設工事を施工し、南山名配水場及び小淵配水場給水区域の約1,500戸を扶桑北部配水場へ切替え、小規模かつ老朽化した配水場の集約を行いました。また、漏水多発路線の布設替工事、道路拡幅工事や区域外給水解消に伴う配管整備等についても施工しました。

(業務)

令和2年度末の給水件数は23,649件、有収水量は6,241,808^m、有収率は90.1%です。

新規加入、移動、臨時、口径変更等の給水申込みは、合計668件となり、その他として量水器及び止水栓取替工事を3,147件行いました。

検針、徴収業務については、19名の検針委託人と職員で処理しました。なお、徴収業務のうち年度末における口座振替件数は20,438件となり、加入率は86.42%となっています。

(2) 予算に対する決算状況

(単位：円、税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算に対する割合(%)
事 業 収 益	1,051,870,000	1,039,603,006	98.83
事 業 費 用	945,239,000	911,336,637	96.41
資 本 的 収 入	233,823,000	186,361,878	79.70
資 本 的 支 出	850,288,000	738,375,478	86.84

(3) 損益計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：円、税抜)

1 営業収益

(1) 給 水 収 益	735,907,438		
(2) 受 託 工 事 収 益	204,380		
(3) そ の 他 の 営 業 収 益	40,087,441	776,199,259	

2 営業費用

(1) 配 水 及 び 給 水 費	569,767,171		
(2) 受 託 工 事 費	191,010		
(3) 総 係 費	25,101,830		
(4) 減 価 償 却 費	240,242,687		
(5) 資 産 減 耗 費	18,910,928	854,213,626	
営 業 損 失			78,014,367

3 営業外収益

(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	21,369		
(2) 他 会 計 負 担 金	3,060,000		
(3) 長 期 前 受 金 戻 入	88,084,047		
(4) 雑 収 益	6,282,569		
(5) 他 会 計 補 助 金	80,487,165	177,935,150	

4 営業外費用

(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	4,588,114		
(2) 雑 支 出	10,582,272	15,170,386	162,764,764
経 常 利 益			84,750,397

5 特別利益

(1) 過 年 度 損 益 修 正 益	254,586	254,586	
---------------------	---------	---------	--

6 特別損失

(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	108,732	108,732	145,854
---------------------	---------	---------	---------

当 年 度 純 利 益			84,896,251
前 年 度 繰 越 利 益 剰 余 金			2,567,196
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額			200,000,000
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金			287,463,447

(4) 貸借対照表 (令和3年3月31日)

(単位:円)

		資 産 の 部	
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土 地		179,195,992	
イ 建 物	9,925,450		
減価償却累計額	△ 5,491,706	4,433,744	
ウ 構 築 物	11,912,007,639		
減価償却累計額	△ 5,642,695,661	6,269,311,978	
エ 機 械 及 び 装 置	259,451,465		
減価償却累計額	△ 205,028,986	54,422,479	
オ 車 両 運 搬 具	11,631,435		
減価償却累計額	△ 10,845,124	786,311	
カ 工 具 器 具 及 び 備 品	68,834,497		
減価償却累計額	△ 4,984,339	63,850,158	
有形固定資産合計		6,572,000,662	
(2) 無形固定資産			
ア 電 話 加 入 権		1,265,400	
無形固定資産合計		1,265,400	
固定資産合計			6,573,266,062
2 流動資産			
(1) 現 金 預 金		604,247,843	
(2) 未 収 金	57,531,900		
貸倒引当金	△ 619,898	56,912,002	
(3) 貯 蔵 品		568,840	
(4) 前 払 金		6,020,700	
流動資産合計			667,749,385
資産合計			7,241,015,447

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債		726,566,297	
(2) 引当金			
ア 退職給付引当金	19,764,290		
引当金合計		<u>19,764,290</u>	
固定負債合計			746,330,587
4 流動負債			
(1) 企業債		8,891,998	
(2) 未払金		54,784,776	
(3) 前受金		12,938	
(4) 引当金			
ア 賞与引当金	11,027,000		
引当金合計		<u>11,027,000</u>	
(5) 預り金		38,282,109	
流動負債合計			<u>112,998,821</u>
5 繰延収益			
ア 国庫補助金長期前受金	19,063,354		
収益化累計額	<u>△ 1,694,694</u>	17,368,660	
イ 県費補助金長期前受金	68,476,017		
収益化累計額	<u>△ 54,417,386</u>	14,058,631	
ウ 工事負担金長期前受金	3,982,832,779		
収益化累計額	<u>△ 1,753,738,182</u>	2,229,094,597	
エ 受贈財産評価額長期前受金	76,781,826		
収益化累計額	<u>△ 11,957,029</u>	64,824,797	
繰延収益合計			<u>2,325,346,685</u>
負債合計			<u>3,184,676,093</u>

資本の部

6 資本金			
(1) 自己資本金			
ア 固有資本金	17,800,646		
イ 出資金	747,568,613		
ウ 組入資本金	<u>2,612,239,712</u>		
自己資本金合計		<u>3,377,608,971</u>	
資本金合計			3,377,608,971

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 工事負担金	95,068,288	
イ 受贈財産評価額	1,198,648	
資本剰余金合計		96,266,936

(2) 利益剰余金

ア 利益積立金	30,000,000	
イ 建設改良積立金	265,000,000	
ウ 当年度未処分利益剰余金	287,463,447	
利益剰余金合計		582,463,447
剰余金合計		678,730,383
資本合計		4,056,339,354
負債資本合計		7,241,015,447

※1 賞与引当金の取り崩し

当年度において、賞与引当金10,681,000円を取り崩し、6月期末勤勉手当に充当した。

※2 貸倒引当金の取り崩し

当年度において、貸倒引当金238,004円を取り崩し、貸倒れ債権として欠損処理をした。

※3 建設改良積立金の取り崩し

当年度において、建設改良積立金200,000,000円を取り崩し、建設改良費に充当した。